

# 議会だより

No. 47 2016年8月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 黒滝 松 男  
●編 集：議会広報編集特別委員会

議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索



## 魚野川 あゆ解禁

平成28年第1回臨時会報告・6月定例会報告	2～4
平成28年度議案審査報告	5
一般質問 19名が市政を質す	7～13
常任委員会報告・新委員会体制	14、15
政務活動報告	16、17
高校生・小学生議会傍聴	18

# 新議長・副議長あいさつ

## 市民に開かれた議会を

議長 黒滝 松男



平成28年6月定例会におきまして、南魚沼市議会第8代議長に就任いたしました。

市では今後10年間のまちづくりの方向性を示す「第2次総合計画」を策定し、「自然・人・産業の和で築く安心のまち」を目指してスタートしたところです。

さて、市の人口は平成27年に6万人を下回り、本年4月末では58,521人。平成52年には5万人を下回ると推計されており、人口減少や少子高齢化が進んでいます。

南魚沼市では、首都圏などの現役世代やアクティブな中高年齢者が元気なうちに移住する、C C R C構想やグローバルITパーク等を推進し、交流人口・定住人口の増加を目指すとともに、地域経済の発展と雇用の確保や起業の推進に取り組んでおります。

南魚沼市で生まれ、育って良かったと思えるまちづくりを目指して、公正で活発な、そして市民のためにより開かれた議会運営に誠心誠意努めてまいります。

## 活発な議論と市民目線の議会運営を

副議長 佐藤 剛



合併から丸11年が経ち合併特例期間を終え、これから市は自前の行財政運営が求められる時期を迎えます。その重要な時期に副議長に就任し、身が引き締

まる思いであります。

南魚沼市に限らず、少子高齢化が本格的に進み、人口減少が加速するなど全国の自治体は多くの課題を抱える中、今「地方創生」という生き残りをかけた自治体間競争の時代といえます。そこで問われるのは、知恵と創意工夫、そしてそれを実現する政策能力と実行力です。

そのために議会は、チェック機能は勿論それに留まらず、積極的に政策提言する議会が求められ、ますますその役割と責任は重要になっていきます。

そういう時期の大役であり、知識、経験不足で微力ではありますが、市の発展に向けて活発な議論と市民目線で公平・公正な議会運営に努め、積極的に議長を支え、この重責を全うする決意で取り組みたいと思います。

# 平成28年第1回議会臨時会が 5月16日に開かれました

5月の臨時会では、

- 上位法改正に合わせた市の  
税制条例一部改正と、国民  
健康保険税の課税最低額を  
引上げ、減免幅を広げると  
いう報告がありました。
- 議員発議により「議員定数  
調査特別委員会」の設置を  
決めました。議決結果はP  
6をご覧ください。

## 質疑応答 (抜粋)

### 第68号議案

平成28年度南魚沼市一般会  
計補正予算(第1号)

### 八幡保育園 建設工事費増額審議

まず、市長、総務部長から  
3点の大きな理由の説明があ  
りました。

- ①定員数を増やしたいので建  
築床面積を増やす。
- ②軟弱地盤のため基礎ぐいを  
8mから33mに変える。
- ③駐車場などの融雪のため、ペ  
レットボイラーを設置する。

**Q** ペレットボイラーの設備  
費と熱効率はどうなってい  
るか。

**A** 設備費は高く、熱効率も  
心配だが、自然への配慮と  
市内にペレットを普及させ  
るために高くても公共施設  
に導入したい。運転を工夫  
すれば熱効率も上げられる。

**Q** 軟弱地盤と知っていて8  
mの基礎ぐいにしたのか。

**A** 実施計画に入り、専門家  
からの指摘で33mに変えた。  
**Q** 将来、園児が減るのに大  
きな施設を作るのか。

**A** 特別保育の希望が増えて  
いる。現在、定員115人  
に対して、入園希望は13  
4人もある。

**Q** 8月着工で間に合うのか。  
**A** 来年の卒園式を新園舎で  
行いたい。間に合うと考え  
ている。

反対討論

2人

賛成討論

なし

### 賛成多数で原案可決

## 平成28年 6月定例会 の概要

6月定例会では、新議長・副議長が選出されました。議決された予算を修正する案や職員定数に関する条例の改正、ロータリー除雪車の取得などについての議案が所管委員会に付託され、審議が行われました。その審議結果を受け、本会議にて決議がおこなわれました。

- 本会議は6月6日、8日～17日の9日間、常任委員会は8～9日に開かれました。
- 議決結果は6ページをご覧ください。

## 質疑応答

(抜粋)

### 第12号報告

南魚沼地域土地開発公社の  
経営状況を説明する書類の提  
出について

**Q** 現在の土地を一般財産と  
して取得し、利用した方が  
良いと考えるが。

**A** それも一つの方法である。  
しかし、長森運動公園につ  
いては現在話し合いが続いて  
おり、市有地にするという  
考えはない。

### 第13号報告

一般財団法人しゃくなげ湖  
畔開発公社の経営状況を説明  
する書類の提出について

**Q** 28年度サルパトロールの  
取組状況は。

**A** サルの群れは、市内に11  
群ほどいる。6群に発信器  
を付け追跡調査をし、検討  
会を行っている。サルがど  
のように移動しているのか  
がわかる、貴重な資料にな  
る。28年度もその情報を

メール配信していく。

### 第78号議案

工事請負契約の締結につい  
て(子育て第1号 八幡保育  
園改築(建築)工事)

**Q** 灯油と比べコストが高い  
ペレット方式を導入するの  
はなぜか。

**A** 市は二酸化炭素削減とい  
う観点からペレットボイ  
ラー・ストーブの導入を推  
進している。公共施設に導  
入することで、全体のペ  
レットの需要増に資するた  
め設置した。

### 承認(全会一致)



# 平成28年度一般会計当初予算(第2号)

## 1億1,583万円を追加し、328億7,012万円に

### 主な補正項目

#### 歳入

- ・低所得者保険料軽減国庫負担金・・・ 325万円増
- ・地方公共団体情報セキュリティ強化対策補助金  
..... 970万円増
- ・保育所等整備交付金.....1,351万円増
- ・地域子ども子育て手支援事業国庫補助金  
..... 333万円増
- ・移住者受入体制支援事業県補助金・ 207万円増

#### 歳出

- ・ネットワーク総合保守委託料..... 335万円増
- ・放課後児童クラブ施設整備費補助金  
..... 668万円増
- ・鳥獣被害防止対策協議会補助金..... 80万円増
- ・観光看板改修工事費..... 50万円増
- ・測量設計等委託料..... 312万円減
- ・体育施設整備事業費..... 129万円増

### 質疑応答

(抜粋)



・移住定住促進事業費

295万円増

**Q** どこに委託しようとしているのか。

**A** 県の支援事業だが、画一的なものにならないようにする。日経BP社に委託する。

・地盤沈下対策費 講師謝礼

30万円増

**Q** 勉強会の招集範囲とその狙いは。地下水・地質調査の専門家として、大学教授を3人ほど予定している。

**A** 地盤沈下対策の合理性、方向性について教示いただく。

・「新潟米」食味・品質確保整備支援事業補助金

1,500万円増

**Q** どういう形で活かされるのか。  
**A** JAしおぞわのカントリーエレベーターについて、品質低下を防止するためにクーラーを設置する。

・林道修繕工事費 180万円増

**Q** どの修繕か。作業道路整備後、林業の事業拡大に進んでいるのか。

**A** 君帰、野田地内を予定している。事業拡充はなかなか思うようにならない。

・学校給食一般経費 18万円

**Q** 来年度に民間委託となるが、どのような方々が選考委員になるのか。あるいは給食運営委員会が賄うのか。

**A** 独自の選考委員会を上げる。メンバーは未定。

・防災一般経費 108万円増

**Q** 熊本の被災地へ送った備蓄米の補充だが、本来はどの程度備蓄しておくのか。

**A** 県の指導では1万4,600食の備蓄が必要である。

・体育施設設備事業費

129万円増

**Q** 石打体育館の半分が室内練習場になるのか。現状の利用者に迷惑がかからないか。

**A** 体育館の半分を石打トレーニングセンターとして整備する。利用者に迷惑はかからないと考える。

## 総務文教委員会 審査報告

(抜粋)

(6月8日)

### 第69号議案

南魚沼市職員定数条例の一部改正について(消防職)

Q 5人増やすとのことだが一気に増やすのか。3～5年計画なりで考えているのか。

A 定数5名増はあくまで定数枠の増である。

Q 人口比などにより法定数が決められていると思うが、どう決められているか。

A メンタル面での急病があつて対応を取らなければならない理由があるのか。

A 法律で決められた定数はない。消防庁から消防力の整備指針が出ている。消防本部の面積、人口、人口密度などから消防力として目指すべき方針内容とされており、当市では定員153名という目安になる。

A メンタル面での休職について、不調を抱えている職員はいるが力

ウンセリングや見守り等注意しながら支える体制で対応している。

### ◆全会一致で可決

### 請願第1号

30人以下学級実現、義務教育国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願について

Q 請願で新潟県教職員組合南魚沼市支部ということだが、市・町単位の支部で動いているのか。内容は市町村に沿ったものか、全国一律か。

A 27年度は全国でこの請願が出されている。新潟県では30市町村すべてで出されている。内容は、他支部のものを見ているが、南魚沼市教職員組合とは同じである。

### ◆全会一致で採択

## 産業建設委員会 審査報告

(抜粋)

(6月10日)

### 第70号議案

南魚沼市林間休養休憩施設条例の廃止について

### ◆全会一致で可決

### 第71号議案

南魚沼市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について

Q 第9条、軌道敷(路面電車)に関する条例が今まで存在しており、今回削除することの経緯は。

A この条例が市に委任された際に第9条については将来を考え、条文を削除する結論に至らなかったと推測される。今回は、現時点で該当しないものは削除したい。

### ◆全会一致で可決

### 第74号議案

財産取得について(ロータリー除雪車2.6m級1台)について

Q 75号議案と2台購入する理由は、耐用年数を超えて処分による補充購入なのか、仕事量の軽減をするためのものなのか。

A 修理費がかさんできた年代物についての更新で、台数を増やすものではない。

### 第75号議案

財産取得について(ロータリー除雪車2.2m級1台)について

### ◆全会一致で可決

## 平成28年第1回臨時会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	採決結果
第4号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市税条例等の一部改正について）	承認（全会一致）
第5号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市都市計画税条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第6号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認（賛成多数）
第7号報告	専決処分した事件の承認について（平成27年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について）	承認（賛成多数）
第68号議案	平成28年度南魚沼市一般会計補正予算（第1号）	可決（賛成多数）
議案番号	議員発議案	採決結果
発議第3号	特別委員会の設置について（提出者：議会運営委員長）	採択（全会一致）

### 賛否一覧表

賛否が分かれた議案、退席者がいた議案の詳細を表示しています

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

会派	歩む会					市政クラブ					新生市民クラブ		南魚政策研究会		南魚みらいクラブ					日本共産党議員団						
	笛木晶	林茂男	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	阿部久夫	勝又貞夫	桑原圭美	山田勝	今井久美	腰越晃	阿部俊夫	佐藤剛	寺口友彦	中沢俊一	永井拓三	中沢一博	樋口和人	塩川裕紀	清塚武敏	小澤実	黒滝松男	関常幸	若井達男	田村眞一	岡村雅夫
第6号報告	○	○	○	○	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号報告	○	○	○	○	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第68号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

## 平成28年6月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	採決結果
第69号議案	南魚沼市職員定数条例の一部改正について	可決（全会一致）
第70号議案	南魚沼市林間休養休憩施設条例の廃止について	可決（全会一致）
第71号議案	南魚沼市道路の構造の技術基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第72号議案	平成28年度南魚沼市一般会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第73号議案	平成28年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第74号議案	財産の取得について（ロータリ除雪車2.6m級 1台）	可決（全会一致）
第75号議案	財産の取得について（ロータリ除雪車2.2m級 1台）	可決（全会一致）
第76号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意（全会一致）
第77号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意（全会一致）
第78号議案	工事請負契約の締結について（子育て第1号 八幡保育園改築（建築）工事）	可決（全会一致）
第79号議案	工事請負契約の締結について（衛工し尿第1号 し尿等受入施設建設（土木建築）工事）	可決（全会一致）
第80号議案	工事請負契約の締結について（衛工し尿第2号 し尿等受入施設建設（機械設備）工事）	可決（全会一致）
議案番号	議員発議案	採決結果
発議第4号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について（提出者：総務文教委員長）	採択（全会一致）

# 一般質問

## 質問順位

1. 勝又 貞夫
2. 中沢 一博
3. 清塚 武敏
4. 塩川 裕紀
5. 小澤 実
6. 田村 眞一
7. 岡村 雅夫
8. 中沢 俊一
9. 塩谷 寿雄
10. 牧野 晶
11. 佐藤 剛
12. 寺口 友彦
13. 鈴木 一
14. 若井 達男
15. 今井 久美
16. 永井 拓三
17. 桑原 圭美
18. 関 常幸
19. 腰越 晃



### 一般質問とは…

議員が市の一般事務について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたすものです。



市政クラブ  
勝又 貞夫

## 行政の経営改善を すすめよ

**答** 試験的にアメーバ  
経営を実施する

**Q** 質問 大和病院に経営コンサルが入るが、大和病院に限らず、城内診療所や市民病院、さらに市行政のシステム全体をも見据えて、その経営改善の手法を学ぶべきではないか。

## A 市長

大和病院で試験的に経営コンサル（アメーバ経営）を実施し、その効果が認められれば、企業会計や行政組織にも導入したい。

## 最終ゴミは地元で 処分できないか

**答** 最終処分地の  
確保は難しい

**Q** 質問 地元から出る最終ゴミを、山形県の米沢市や群馬県の草津市まで運んで処分している。地元で処分できない事情はなにか。十日町市や長岡市では市内に最終処分場があると聞く。市内から出るゴミは市内で処分してこ



可燃ごみ処理施設

そ、地域完結型の市政と言えないのではないか。

## A 市長

スラグについてはJIS規格までとり無害なものとして、埋め立て工事に使ったり、コンクリートの二次製品に使うべく話を進めている。

飛灰については有害で、再利用ができない。やむを得ず県外へ運んで処分してもらっている。



南魚政策研究会  
中沢 一博

## 魚沼地域の療養病床 の計画を急げ

**答** 全力を尽くす

## Q 質問

魚沼地域の医療再編は基幹病院を始め、地域連携した中で方向性を示し計画してきた。しかし当初計画した療養病床とはかなり実態が違い遅れている。医療・介護が連携をした中で、地域完結型の福祉を早急に示せ。

**A 市長** 地域医療の各自自治体の間の約束事であり憂慮している。計画の小出病院44床が人材不足等で遅れている。このような事態が長期化した場合は、赤字覚悟で、市内で受入れる体制を考えなければならぬ。

## 食品ロス削減の取組を 指導してほしい

**答** 食育推進と捉えて  
指導してほしい

## Q 質問

日本の食品ロスは年間632万トンと言われ、食品廃棄物の4割がムダに捨てられている。その削減が喫緊の課題と考えるが当市の取組を伺う。

## A 市長

①学校や保育所の食べ残しの実態と啓発は。  
②飲食店等の食品ロス削減は。  
③家庭に於ける啓発と未利用食品の有効活用を。

①食育推進と捉えて指導していく。保育所は残食がほぼない。小中学校では、全国平均より残食は少ない。今後、更に高い目標を設定し推進する。

②長野松本市の30・10運動等の先進事例を参考にしながら市民に啓発していきたい。

③既に家庭用生ごみ処理機の購入補助を行っており、たい肥としての有効活用を推進している。また、経済的に困窮している方々に、未利用食品を届けるフードバ

ンクは非常に良い取組であり、社会福祉協議会を通じて支援を行っている。今後はこの活動の仕組みを構築していく。



南魚みらいクラブ  
清塚 武敏

**若者や子育て世代の  
移住・定住促進策は**

**情報発信、支援制  
度利用で体制強化  
しよう**

**Q 質問** 若者や中山間地域に特化した地方創生関連事業について、もっと市民に示していかなければと考える。  
①市長が次に打ち出す施策はあるのか。  
②若者や子育て世代の移住定住促進策にどう取り組むか。  
③中山間地の活性化を目的とした移住定住促進と、空き家バンクの取組は。

**A 市長** ①CCRC構想、グローバルパークの他にも若者の移住定住、

交流人口増を目的として、モンスターパーク、スケートボードパークが現実になるうとしている。

②今年度新規事業として、Uターン促進住宅支援モデル事業、移住イベント開催、移住体験ツアー実施事業、民間との共同で移住定住促進事業を実施していく。子育て世代への政策は既存の制度のみであり、今後一層の拡大充実が必要だ。  
③地域の受け入れるための心構えの研修を進める。空き家バンクの必要性を十分感じている。現在、空き家対策プロジェクトチームを設置しており、空き家情報の整理、提供の準備を進めていく。



若者・子育て世代移住・定住



南魚みらいクラブ  
塩川 裕紀

**出生率を上げる対策は**

**市、独自の制度で  
かなり手厚くしている**

**Q 質問** 「日本一の子育て村」構想を島根県邑南町が掲げ、23年度から積極的な子育て支援を打ち出し、国の目指す出生率1.8を大幅に上回る2.65という結果をあげている。  
①我が市でも出生率の観点から、今以上に多子世帯への経済的支援が大切だと思っ  
②企業と連携し、短縮勤務、在宅勤務等の働きやすい環境づくりや妊娠、出産が退職に結びつかないよう、職場復帰しやすい環境づくりを目指すべきだ。

**A 市長** ①子どもの医療費助成は多子世帯に限定せず「子どもは平等だ」という観点から妊産婦、一人親世帯を含め、県内でも手厚く

支援している。  
児童扶養手当は平成28年8月から第二子加算が現行5,000円から10,000円、第三子加算が3,000円から6,000円と倍になる。経済的支援は国の制度に加えて市独自の助成で手厚く取り組んでいる。

②平成26年に実施した市の街づくりアンケート調査の結果から、雇用が確保されている人は子育て支援の満足度が高い。  
企業も次世代育成対策推進法の施行を機に、子育て支援に着手し始めている。今後は企業の工夫に期待をし、市と企業と関係機関で協力していく。



南魚みらいクラブ  
小澤 実

**農業の振興策はいかに**

**支援策を実施、  
検討している**

**Q 質問** 27年度販売農家戸数3,613戸、内専業農家483戸、経営耕地面積は3ha以上が357戸で耕地の10%を担っている状況で次のことを伺う。  
①販売上位10品目をどう伸ばすか。また他に有望視されているものはあるか。  
②広域有機センターの有効活用は。  
③6次産業化への具体的支援策は。  
④ジビエ（野生の鳥獣肉）処販売策は。  
⑤懸念される渇水対策は。

**A 市長** ①米については西農協ヘクター、精米施設、サイロクローラーに融資制度、補助事業で支援している。また園芸品目については地域振興局、農協、農業者と協議しながら特産品開発をしている。アスパラは有望だ。  
②11年を経過し、機械、運搬器具等が、更新時期を迎えている。今後、指定管理者



**答** 効果はあるが  
実施は難しい

**店舗等改装促進事業の  
実施を**



日本共産党議員団  
田村 眞一

④ 一般的に病原体や寄生虫が  
いるので、販売には食品衛  
生法等の許可が必要。27年  
度の捕獲数は、鴨408羽、  
猪64頭、熊17頭である。県  
内には処理施設はない。今  
後注視して行く。  
⑤ 今後支援の必要性がでたと  
きは、市では予備費の流  
用や専決処分に対応する。



**Q 質問** 住宅リフォーム事業  
は今年で7年目を迎え、  
少ない予算で大きな経済効果  
をもたらし、業者の仕事をつ  
くる上で大きな役割を果たし  
ている。  
長引く不況、個人消費が伸  
びなやみ、後継者不足の中で  
今後も仕事を続けていきたい  
業者にとり明日への希望の事  
業である。市民にとっても  
「我が家を大切に長く住みつ  
づけていきたい」という願い  
にこたえてほしい。住宅リ  
フォーム事業の継続・拡充へ  
見解を求めます。  
① 住宅リフォーム事業の効果  
は。  
② 店舗等改装促進事業の実施  
を。

**Q 質問** 資源循環型社会の構  
築に向け、どう進める  
か。  
**A 市長** 環境基本計画を見直  
して、「持続と循環の  
まちをつくる」という基本方  
針をかかげた。魚沼市・湯沢  
町とはごみの収集区分が異

**答** 生ごみ資源化施設は建  
設せず全量焼却処分は  
二市一町の合意事項



日本共産党議員団  
岡村 雅夫

**ごみ行政の前進を**

**A 市長** ① 市民には住環境の向  
上対策、施業者者に  
とっては仕事量の確保対策  
として非常に好評をいただ  
いている。  
② 効果があることは理解でき  
る。しかし、いまずぐに実  
施することは難しい。  
創業支援補助金など諸制  
度を活用、利用することで  
支援をしていく。



志布志市ごみステーション

なっており、統一することが  
課題である。  
**Q 質問** 全体計画なくして用  
地取得はできないので  
は。  
**A 市長** 施設の規模、配置等  
の全体計画は現在では  
ない。  
**Q 質問** 分別・資源化で減量  
化が可能だ。可燃ごみ  
処理施設焼却炉建設のみの計  
画か。  
**A 市長** 可燃ごみ処理施設の  
建設は決定している。  
**Q 質問** 焼却炉の燃焼方式を  
示せ。  
**A 市長** ストール炉、流動床  
炉、溶融炉の燃焼方式  
があるが、どの方式かは決定  
していない。

**Q 質問** 会派で横浜市水道局  
団を現地調査した。民間活力  
を最大限に活用し、26年度  
「水道イノベーション賞」を  
受賞した。双方に共通する大  
胆な民間委託と広域化は、南  
魚沼市の水道事業でも取り組  
むべきだ。  
我が市の新水道ビジョンに  
は広域化の視点はなく、民間

**答** 隣接市町との水の  
融通は一考の価値

**水道料値下げは  
「広域化」と  
大胆な「民活」で**



新生市民クラブ  
中沢 俊一

**Q 質問** 「混ぜればごみ、分け  
れば資源」徹底したサ  
イクルを進め、市民の協力を  
得る試みをすべきである。  
**A 市長** 志布志市の取組はす  
ばらしい。分別回収の  
徹底、ごみ分別の細分化の検  
討をする。

活力の利用も部分的だ。

県がようやく水道広域化を唱え始めた。今が好機だ。湯沢町からは緊急時に水を買いたい、魚沼市の簡易水道に当市の余力ある水を安く売る。緊急水源投資は不要となり、回転率アップで水道料値下げもできるはずだ。

**A市長** 南魚沼市の水道料原価が高いまま推移しているため、水道料金も高い水準にある。国も簡易水道への補助金を近い将来、大幅カットする。近隣自治体への水の供給販売は協議継続していく。

新水道ビジョンの財政的試算は、9月議会には方向性は出せると思う。今後は、広域化による事業統合はさらに進むと考える。県全体の方向性は全く示されていない。今後事例等を参考にしながら協議を進めていきたい。



広域化と民活をいち早く実現した岩手中部水道企業団



歩む会  
塩谷 寿雄

**市で行っている保育の認定区分の見直しをするべき**

**答** 市でやれることは、最大限行う

**質問** 現在、保育園等に入るための保育の必要性認定において、2号、3号認定について、就労事由では月の就労時間が基準になっているが、主婦の家事は朝早くから夜遅くまで家庭内の仕事は多い。この要綱にはそういった配慮がない。

妊娠、出産事由では、産前6週から産後8週経過する日の翌日が属する月末までとなっている。この地域では産休や育児休暇などを取れない職場が多い。夜泣きなど母親の体が休まることはない。この規定では、上の子どもが何人いても産後約2か月で働かないと原則1号認定となる。産後1年は2号認定とするべきではないか。もしくは、特例ではなく近所の保育園に通い、延長もできるようにするべきだ。

市内でも困っている方は多い。子ども子育て法の変更に伴い、公設の多い我が市ではなじまない。

市に権限があれば保育園に入所したい人は全員受け入れるか、もし小学校に上がる前まで家で見ていたら、一子につき月10万円の補助制度があれば保育行政もだいぶ変わると思うが。

**A市長** 個人の思いとすると、施設に入所したい方は全て受け入れるのが当たり前だと思うが、交付税等の関係があり難しい。国が地方自治体に権限を任せるべきだと思う。



歩む会  
牧野 晶

**市内のグラウンドの芝生化を**

**答** 公平性の問題で学校グラウンドは厳しい

**質問** 大原運動公園が大人気であり、予約が取りにくい。嬉しいことだが、予約が取れないことで市民に不自由をさせている。また、全国で学校芝生化を進めている地域もあり、過去に南魚沼市でも学校芝生化を検討したが、市の方針で断念したと聞いた。子どもの環境整備と観光振興のために市内グラウンドの芝生化を進めるべき。

過去に大崎小学校でグラウンド芝生化を考えたが、学校環境に不公平感がでるのはよくないということとでやめた。もしやるなら二日町グラウンドのような場所を進めるのがいいと思う。



新生市民クラブ  
佐藤 剛

**井口市政の総仕上げと引継ぐ課題は**

**答** 残任期間でできることは進め引継ぐ

**質問** ①メデイカルタウン構想が進まない要因の農振除外、農地転用の見通しをどうつけるか。

②ITタウン構想のサテライトオフィスへの拡大で若者の雇用創出の考えは。

③人口減少対策では県下20市町村が設置する空き家バンクを含め、移住受け入れ体制。

④医療再編の仕上げとして、大和病院の位置付、在宅医療が可能な体制づくり等は、井口市政の総仕上げとして道筋をつけて次期市政に引き継ぐべき課題だ。

**A市長** ①農振除外は個々具体的に判断され、農地転用の権限移譲を受けても難しいが、地域の実情での



基幹病院周辺の建設現場

運用を市長会でも取上げて  
いる。

②I-Tタウン構想は拡大の方  
向もあり、参入企業が増え  
ればサテライトオフィスに  
もつながらる。

③空き家バンクは、国交省の  
空き家情報一元化の動きも  
見て進める。空き家リ  
フォーム助成は検討する。

④医療体制の仕上げとして、  
大和病院の今後の位置、規  
模等、病院で検討を始めて  
いるが、大和病院の重要な  
役割は変わらない。在宅対  
応は地域包括ケアシステム  
と併せ進める。



新生市民クラブ  
寺口 友彦

**定住自立圏協定を  
人材育成に活かせ**

**答** やっていく中で  
人材が育つ

**Q** 質問

南魚沼市・魚沼市・  
湯沢町は「魚沼地域定  
住自立圏形成協定」を結んだ。  
新ごみ処理場建設での連携が  
端緒である。人材育成での連  
携をどう考える。

**A** 市長

共生ビジョン策定に  
向け準備している。パ  
ブリックコメントにかけた後、  
ワーキンググループをつくる。  
7月中に案を作り、9月定例  
会に提出する。市・町が一つ  
になれるわけではないが、分  
野によって課題が異なる。  
ワーキンググループでやって  
いく中で人材は育つ。

**1人泊に1,000円  
の助成金はどうか**

**答** 効果はあるが

**Q** 質問

平成20年を境に市税  
総額が減っている。第  
3次産業就労者割合が高いか  
ら集客力を高める必要がある。  
能登町は合宿などに助成金を  
出している。新潟大学・明治  
大学の学生が上野鉱泉を調べ、  
湯治の効果を報告している。

**A** 市長

グリーンツーリス  
ム・合宿などは実績が  
ある。助成金には効果がある。  
体験旅行、インフラツーリス  
ムなど首都圏との連携を進め  
る。温泉と医療効果を結び付  
けることは需要だ。医学的に  
どう活用できるか、基幹病院  
と一緒に研究する。



上野鉱泉湯治場の湯



歩む会  
鈴木 一

**「福祉」と「教育」の部門  
を一体化できないか**

**答** 一体化は簡単には  
できない

**Q** 質問

南魚沼市では「福  
祉」と「教育」は分け  
て考えているようだ。保育か  
ら小学校に移るときに、保護  
者は再度子どもの情報を説明  
しなければならぬ。これは  
大変なことではないか。

日野市の「エール」は福祉  
分野と教育分野（教育委員  
会・小学校・中学校）が一体  
となって、継続した支援、専  
門的で総合的な支援や相談を  
実施している。これにより、  
個性に応じた子どもの健やか  
な成長を共に支え合い、継続  
した育ちのサポートに資する  
ことを目的としている。

電話での相談者は多い。南  
魚沼市でも同様の支援をやっ  
ているが、福祉と教育部門の  
一体化で、相談者と行政もス

ムーズにいくのではないかと  
思う。

**A** 市長

各課連携して、情報  
を共有し「子育て」  
「教育」がスムーズにいくな  
う考える。  
日野市も参考にし、検討し  
ていきたい。



南魚みらいクラブ  
若井 達男

**電力自由化は当市に  
何をもちたらすか**

**答** 安心・安全のプラン  
を取り入れていく

**Q** 質問

①電力自由化の目的は  
いかに。  
②公共施設の電気料金はいか  
に。  
③一般家庭の電気料金は安く  
なるか。

④当市内の融雪電気料金への  
影響はいかに。

**A** 市長

①料金値下げだけでは  
なく、新しい市場  
(技術開発・事業拡張)の  
開拓。再生エネルギーを含  
め需給バランスを考える。



通年融雪電気料金が必要です

- ②庁舎、学校他多々あるが、当年度は東北電力を使用する。29年度より入札による選定を考える。
- ③電話料金等のセット料金が多くなる。契約時に十分の注意が必要になる（情報等の収集）。
- ④新しい電力会社による、融雪用契約プランは出ていない。当面、東北電力のプランを使う。信頼性を見極めながら、今後安心、安全のプランを取り入れていきたい。



市政クラフ  
今井 久美

**次期体制の取り組みべき課題は**

**答** 人口減少問題にどう対処するかだ

**Q** 質問 次期体制の取り組みべき課題について。

- ①清津川問題の現状は。
- ②水道事業について。
- ③地盤沈下対策について。
- ④その他、今あげた事例の他課題があるか。

**A** 市長 基本的考えは、清津川の水は清津川に返せである。しかし、我々は100年前からこの河川環境の中で、農水省が国交省から水利権を得ている。知事、十日町市長、南魚沼市長の3者会談で、抜本的解決を目指しながら、水の相互利用できないか協議していくこととなっている。

②9月定例会には大まかな考え方を提示する。



克雪のまちづくり

- ③今の条例を廃止して、100m超えに良い地盤があり2〜3度温度が高い水が得られ、水量を抑制できる。専門家の意見を伺いながら方向性を出したい。
- ④人口減少問題にどう対処するかである。地域の維持、まちの発展のため、自分なりに種を蒔いた。芽が出始めた。どう育て果実とすることが課題だ。一番の問題は一般市民のみなさんが、どれだけ本気になって市政に関心を持ってもらえるかだ。議会や行政を批判しているという風潮は考えなおしてほしい。市民の意識をどう改革できるかが、政治の大きな課題だ。



南魚政策研究会  
永井 拓三

**今後の南魚沼市の教育政策は**

**答** 教育にゴールはない

**Q** 質問 後期教育基本計画が策定されたが、今後どのように教育政策に反映していくのか。教育政策の結果が現れるのは20年近くかかることは承知した上で、今後の南魚沼市の教育政策について以下を問う。

- ①南魚沼市が目指す教育のゴールとは何か。
- ②ゴールまでの道のりと達成までの時間はどのように考えているか。
- ③今の教育の中で雪国らしい独特なものはあるか。
- ④これまでの教育の結果、南魚沼市の教育水準は平均に対して国内／県内でどのような位置にあるか。
- ⑤今後、どのように変化し、教育水準は推移すると予想しているか。

- ①教育にゴールはないと思っている。教育は学校だけのものではない。社会教育、家庭教育なども含め行っていく。
- ②学校教育に限って言えば、いつまでも変わらないものの中に新しいものを取り入れる。道のりの達成ということに関しては義務教育の9年間の中で後期教育基本計画に取り組んでいく。
- ③克雪・利雪・楽雪を中心に除雪の大変さや、その恩恵を教えている。越後上布などの文化に関しても教育に取り入れている。雪を楽しむことも教えている。
- ④比較は大変難しい。全国一斉テストの結果から見ると平均よりも下にある。
- ⑤今後は教育の充実を図り、後期教育基本計画に則り、しっかりとした教育行政を行いたいと思う。



市政クラブ  
桑原 圭美

**連続性のある幼保・小・中連携教育の実現を**

**答** 必要性は十分に認識している

**Q 質** 地域の特色を活かした教育が重要であると考えますが、幼児期からの南魚沼の特色を活かした教育は、最も重要である人づくりに対して非常に良い効果が期待できる。その反面、中学校が大規模化することにより、進学した段階において連続性が失われるおそれがある。4月に示された後期教育基本計画に基づき、答弁を求めます。

**A 市長** 特に発達障害への早い対応が必要と考えており、個別カルテを作成して進学時に切れ目のない支援をしていく。また、各中学校の取組へ予算面での支援を検討する。少子化に即した、子ども個々の特性を把握した指導は大事であり、可能な限り個

別指導等の工夫をする。保育士等のスキルアップは研修会等への派遣を充実させている。また、臨時職員の資質向上を目指して資格の取得をさせている。小中の学習支援と図書館の充実に関しては、学習習慣をつけるため、家庭学習の充実を促して時間よりも質の向上を目指す。高校受験に関しても保護者に対して啓発をしていく。市立図書館と学校図書室の連携に関しては、情報管理システムの導入を検討する。キャリア教育の推進に関しては、この地域の特長を生かして、将来この地に貢献できる人材を育てていきたい。



**Q 質** 平成16年に景観に関する法律が施行され、南魚沼市も平成20年に景観行政団体となったが、遅々として景観計画が作成されない。その進捗状況を伺う。

**景観を大切にしたいまちづくりを**

**答** 行政として必要な支援は行う



南魚みらいクラブ  
関 常幸

**A 市長** 都市計画決定道路及び用途地域の指定の見直し作業を進めている。この見直しは完了次第、本格的に作業を進めていきたい。地域住民の皆さんとのコンセンサスが非常に重要だ。その地区全体での合意形成がやはり不可欠だと思っている。必要な行政支援を行うということは当然なことだと思っている。

**Q 質** 魚沼基幹病院が開院し1年、交流人口も増加し、人の流れも変わってきた。メディアカルタウン構想のもと、商業施設の建設やCCRC、ITパークでさらなる発展が期待される。このままでは、進出する企業が自由に、高さや色彩、広告・看板等を建設・設置することができ、統一感のないまちになる。景観について早急に地元と一体となった勉強会が必要だが見解を伺う。

**公営企業の今後の経営・民間活力の導入等は**



市政クラブ  
腰越 晃

**答** 部分的な活用はあっても基本は市が管理する

**Q 質** 下水道事業の公営企業会計への移行に伴う水道事業との統合は、法律上、両会計の統合はできないが、組織と事業の再編統合及び可能な民間委託を進めたい。

**A 市長** 総務省は企業会計への移行、

経営戦略の策定を行った団体に対して、交付税の重点的措置を行うとしているので、検討を進めたい。

**Q 質** 病院事業の指定管理者制度・民営化の考えは。

**A 市長** 現状では城内診療所のみ可能と考えている。

**Q 質** 水道事業及び病院事業の経営計画の策定は。

**A 市長** 水道事業については計画期間を10年とする

経営戦略の策定を今年度予定。病院事業については、総務省の改革ガイドラインに基づき新改革プランの策定を検討。

**Q 質** 病院、水道など公共で行う事業の民間事業者の導入の考えは。

**A 市長** 公営企業である病院、水道について、全て民営化する考えはない。

貴重なインフラである病院や水道、下水道事業も部分的な民間事業者の活用はあっても、基本は市が責任を持って管理する。

## 総務文教委員会 管内調査

○期日 平成28年4月22日

### ○調査内容

①南魚沼版CCRC構想について  
移住者、若者、既存市民が共存することにより、雇用の創出と持続可能な成長を目指すとする南魚沼版CCRC構想の事業計画・進捗状況を調査しました。総務部地方推進室より説明を受けました。

Q 民間の事業者はそれなりの責任を行政に求めてくると思うが。

A 民間の事業者は事業リスクと需要の変動リスクを気にしているが、これは民間の事業者が責任を負うべきと考えている。市が補償をするという考えはない。

②南魚沼市財政シミュレーションについて

28年度からの10年間にわたる南魚沼市財政シミュレーションについて、財政課から説明を受けました。35年度での予算規模を284億円程度と見込んで、予算規模の縮小に合わせて歳出の削減を図っていきます。

Q 実質公債費比率が依然高いがその要因は何か。

A 合併特例債の償還がピークになってきている。全体的な予算規模の縮小に努めていかなければと考えている。

③スケートボードパークの整備計画について(含現地調査)

社会教育課から、小栗山サンスポーツランドのテニスコート4面を屋外スケートボードパークに改修するにあたり、今年度は実施設計と基礎造成工事を予定しているなどの説明がありました。

Q 安全面での対策は。

A ヘルメットの着用を義務付けた中で運営したい。

Q 1年間の稼働日数は。

A 5月から10月末位までの稼働で、延べ2千人の利用を見込んでいる。

④モンスターパイプの整備計画について(含現地調査)

社会教育課から、新潟県のトップアスリート国内活動拠点整備事業補助金の交付を受けて、スキー・スノーボード国際大会を開催できる国際基準に則って整備するなどの説明がありました。

Q 隣接する小、中のパイプの利便性について検討するのか。

A 整備予定のモンスターパイプは市有施設であり、隣接の二つのパイプとは切り離れた運営を考えている。

Q ランニングコストについての考えは。

A 選手強化費としての協力を新潟県に求めていきたい。

## 社会厚生委員会 管内調査

○期日 平成28年4月25日

### ○調査内容

①保育の現状について(含現地調査)

保育園の定員や幼児教育の段階的無償化に向けた取組について、子育て支援課長から説明がありました。

今年度から、野の百合保育園とわかば保育園が保育所型認定こども園に移行し、たんぼ保育園が認可保育園として開園しました。また、旧わかば保育園は未満児のみを対象とした、小規模わかば保育園となりました。

大木六保育園の保育は、私立どろんこ会が引き継ぐ形でスタートする予定です。

Q 休日保育について、どのように考えているか。

A 現状を認識し、対応できるかどうか今検討中である。

②地域包括ケアシステムについて

地域包括ケアシステムの構築に向けた取組と現状について、介護保険課長から説明がありました。

このシステムを構築し機能させるには、医療と介護の連携が第一で、そのための人材確保が重要な課題になっています。

Q いつまでに地域包括ケアシステムを構築し機能させる考えか。

A 今年度は課題の洗い出しや、その検討・精査の段階になる。

③在宅医療と訪問看護について

市立病院群における在宅医療と訪問看護の現状について、市民病院事務部長から説明がありました。訪問看護ステーションでは、在宅で療養している患者のもとへ看護師やリハビリスタッフが訪問し、療養生活の手助けを行なっています。在宅で療養する方々の様々な問題に幅広く対応していくもので、市民病院の開院に伴い、市内全域を対象に進めています。

Q 在宅医療と訪問看護の需要についてどう捉えているか。

A 市立病院群の現状で、やれる範囲の努力をしていくが、すべてを担うことはできない。



たんぼほ保育園

## 産業建設委員会 管内調査

○期日 平成28年4月26日

○調査内容

① 水道水緊急水源について（含現地調査）

水道課長より説明を受けました。平成23年の豪雨災害には畔地浄水場が機能低下になり、緊急水源が必要ということで検討してきました。緊急水源でどの程度の量があれば対応できるのか想定しているか、水源の開発方法、民間手法の検討、財源について今年度中に検討が必要で、今後10年間を見据え経営戦略が必要です。

**Q** 非常用水源は、災害時以外にも使用を考えているのか。

**A** 将来的に常用化につなげるため、通常の日平均水量を目標にしよう。



旧大和地区の荒山水源の現地視察

② 雇用創出事業について

雇用創出事業の内容及び実績について商工観光課長より説明を受けました。新年度県で行う補助制

度は、起業支援、雇用創出、人口増につながるので支援を行っていきます。

**Q** 補助事業採択後の事業者に対し、採択先に対してのチェックはしているか。

**A** 新潟県の事業は把握していない。南魚沼市創業支援所補助金等は3年間の報告を求めている。

③ 農業委員会等に関する法律の改正による影響について

農業委員会事務局長から説明を受けました。農業委員の選挙制から、任命制、定数が現在の38人から19人になります。また、農地利用最適化推進委員が新設されます。今後推進委員の定数、活動区域の検討をしていきます。

**Q** 農業委員会等に関する法律改正の問題点は何か。

**A** 最適化推進委員が何をするのかははっきりしていない。

④ 市民バスの運行について

現状と今後の方向性について、市民バスの利用状況、利用者アンケート等、都市計画課長から説明を受けました。

**Q** 途中で手を挙げて、停まってくれないのか。

**A** 道路交通法4条許可に基づき運行しているので、バス停以外の乗降はできない。

## 議会の構成が変わりました

第1回臨時会（5月16日）において、議員発議による特別委員会設置が可決承認されたこと及び6月に3人の議員が辞職したことに伴い、議会の構成が一部変わりました。

	委員長	副委員長	委員	任期
議会運営委員会	塩谷 寿雄	未決定 ※8月の委員会で決定します	清塚 武敏 桑原 圭美 小澤 実 中沢 一博 中沢 俊一	H28.6.17 ~ H29.10.31
特別委員会 議員定数 調査 特別委員会	阿部 久夫	小澤 実	清塚 武敏 桑原 圭美 笛木 晶 寺口 友彦 岡村 雅夫 腰越 晃 樋口 和人	H28.6.17 ~ H28.11.30

常任委員会 総務文教委員会委員長 岡村 雅夫（平成28年6月17日から）

## 平成27年度 南魚沼市議会政務活動内容

平成27年4月～平成28年3月

会派名	内 容	
南魚みらい 創幸クラブ ↓ (会派名変更) 南魚みらいクラブ	●研修	平成27年 4月18日・25日 3人参加 地方議会議員セミナー 4 / 18: 議員定数について 4 / 25: 議員報酬について
	●研修	平成27年 5月14日～15日 9人参加 市町村アカデミー 議員特別セミナー: 自治体経営の課題
	●視察	平成27年10月 6日～ 8日 9人参加 小松島市: 農業振興について 高知市: 若者の就労、移住・定住促進事業、学力向上対策について 新居浜市: 子育て支援の充実について
	●研修	平成27年11月19日 6人参加 新潟県庁: 人口減少問題の現状と今後
歩 む 会	●研修	平成27年 4月18日・25日 4人参加 地方議会議員セミナー 4 / 18: 議員定数について 4 / 25: 議員報酬について
	●視察	平成27年11月10日～12日 6人参加 四日市市: 議会改革について 鈴鹿口ボケアセンター(株): ロボスーツの活用と可能性について 五桂池ふるさと村: 高校生レストランの運営等について 伊賀の里: 地産地消と地域おこしについて
	●視察	平成28年 2月 9日～10日 6人参加 衆議院第二議員会館: 1億総活躍社会について スマートコミュニティ稲毛: CCRCについて
	●視察	平成28年 3月29日～30日 4人参加 ニセコ町: 外国人観光客の誘客について さっぽろばんけいスキー場: FIS公認ハーフパイプについて
市 政 ク ラ ブ	●会派広報紙「市政クラブ議会報告会」発行	
	●研修	平成27年 4月25日 1人参加 地方議会議員セミナー 4 / 25: 議員報酬について
	●視察	平成27年 8月 4日～ 6日 6人参加 彦根市: 彦根市立病院、空き家等適正管理条例について 京都市: 小中一貫校の取組について 大阪市: 子ども子育て支援会議について
	●研修	平成27年10月23日 6人参加 小中一貫教育全国サミット in 三条
	●視察	平成27年11月12日～13日 6人参加 飯山市: 飯山市自立のための計画書について 飯綱町: 議会改革について 佐久総合病院: 地域医療ネットワーク、佐久医療センター等
	●視察	平成28年 1月19日～21日 6人参加 鎌倉市: 歴史まちづくり推進担当の取組について 勝浦市: 若者等定住促進奨励交付金、空き屋バンクについて 世田谷区: 一般財団法人世田谷区トラストまちづくりの事業について
	●視察	平成28年 3月29日～30日 6人参加 さいたま市: 生活困窮者世帯への学習支援について 沼田市: 観光について
新 生 市 民 ク ラ ブ	●視察	平成27年 5月18日～19日 3人参加 富山県庁: 在宅ケア、観光振興戦略、富山型デイサービスについて NPO法人にぎやか: 富山型デイサービス施設の視察
	●視察	平成27年 7月24日 3人参加 十日町市: 観光戦略について
	●視察	平成27年10月28日～29日 3人参加 置賜若者サポートステーション: 就労支援について 福島県庁: CLT工法と林業振興について
	●視察	平成27年11月17日 3人参加 那須塩原市: まち・ひと・しごと創生総合戦略について ゆいまーる那須: 介護付き高齢者住宅事業について
	●研修	平成27年12月11日 2人参加 Nico IT新技術フェア (朱鷺メッセ)
	●視察	平成28年 2月 3日～ 4日 3人参加 柏の葉スマートシティ (柏市): 新まちづくり等について 柏市: 豊四季台プロジェクトについて
	●研修	平成28年 3月23日 3人参加 中山間地域活性化シンポジウム (新潟県自治会館)
	●資料購入	平成27年 5月19日 平成27年11月17日 視察: NPO法人にぎやか 視察: ゆいまーる那須
南 魚 政 策 研 究 会	●視察	平成27年11月18日～20日 3人参加 野沢温泉村: 外国人観光客の誘客について 白馬村: 民間主導の駅前開発等について 富山県庁: 外国人観光客の誘客について
	●研修	平成28年 1月18日～19日 3人参加 市町村アカデミー 議員特別セミナー: 自治体経営の課題
	●視察	平成28年 3月28日 3人参加 世田谷公園管理事務所: 防災機能、スケートボードパーク等について
	●資料購入	防災教育、環境教育、地方財政関連書籍
日本共産党議員団	●会派広報紙「市議会報告」発行 (第37号～第40号)	



## 平成27年度 南魚沼市議会政務活動費収支一覧表

平成27年4月～平成28年3月

(単位：円)

会派名	南魚みらい 創幸クラブ ↓ (会派名変更) 南魚みらい クラブ	歩む会	市政クラブ	新生市民 クラブ	南魚政策 研究会	日本共産党 議員団	計	
人数	9→6	6	6	3	3	2		
収入の部 交付額	1,044,000	864,000	864,000	432,000	252,000	288,000	3,744,000	
支出の部	調査研究費	689,120	786,263	675,133	418,404	166,519	0	2,735,439
	研修費	431,450	91,580	51,720	40,790	71,830	0	687,370
	広報費	0	0	168,423	0	0	319,491	487,914
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	9,792	17,414	0	27,206
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0
計	1,120,570	877,843	895,276	468,986	255,763	319,491	3,937,929	
返還額	0	0	0	0	0	0	0	

### 全国市議会議長会より表彰を受けました

市議会議員在職

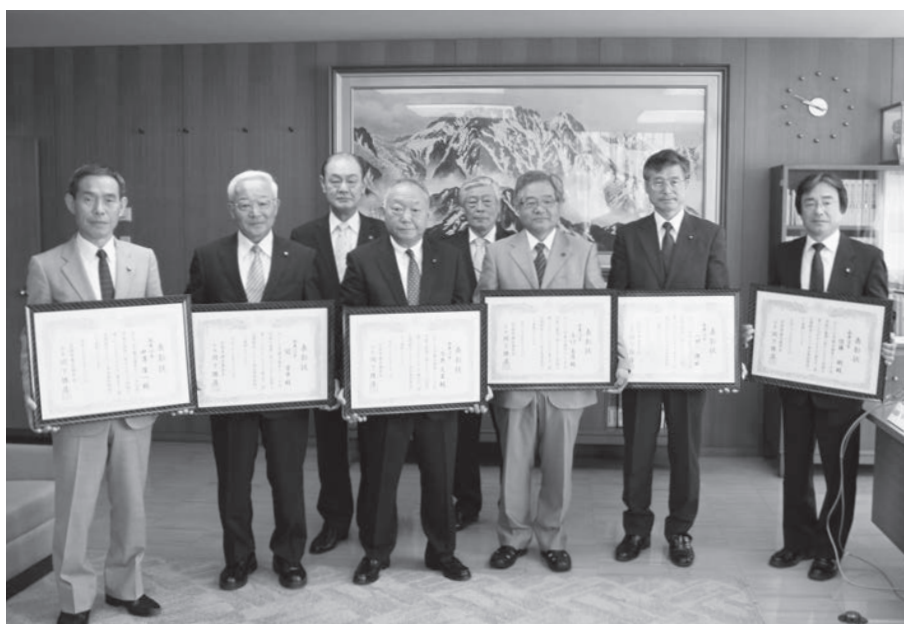
10年以上

- 佐藤 剛 議員
- 山田 勝 議員
- 寺口 友彦 議員
- 今井 久美 議員
- 関 常幸 議員

市議会議員在職

15年以上

- 中沢 俊一 議員



(写真左から) 中沢俊一議員 関常幸議員 今井久美議員 寺口友彦議員 山田勝議員 佐藤剛議員



**議会傍聴に高校生・小学生が来てくれました。**

選挙権が18歳以上に引き下げられるに伴い、6月14日(火)一般質問初日に議会の時間を延長し、市内高校生に傍聴の呼びかけを行いました。

傍聴に来てくれた八海高等学校3年 南雲彩斗君の感想です。

「教室のポスターを見ていこうと思った。難しい話だが、内容は理解できた。選挙権があるので興味を持った。議員や市長に興味を持った。」

同日、午前中には浦佐小学校六年生37人が傍聴に来てくれました。

## 今年もやります!

## 議会報告会

市民の皆さんから、たくさんの参加をお待ちしています。  
日時と会場は以下のとおりです。

- |                   |   |
|-------------------|---|
| <b>六日町<br/>会場</b> | 日時 平成28年10月3日(月) 19時から<br>会場 南魚沼市役所本庁舎2階 大会議室 |
| <b>塩沢<br/>会場</b>  | 日時 平成28年10月5日(水) 19時から<br>会場 塩沢公民館            |
| <b>大和<br/>会場</b>  | 日時 平成28年10月6日(木) 19時から<br>会場 大和公民館            |



### 編 集 後 記

この冬は降雪量が少なく、5月の降雨量も少なかったため全国的に水不足で農業に影響が出ています。  
改めて雪は水資源・観光資源として考えさせられます。  
南魚沼市は利雪・克雪・楽雪をテーマに市政運営をしていくことが大切であることを感じました。

編集委員 永井 拓三

### 9月定例会 予告

9月に市議会定例会を開催します。

9月5日～23日(予定)

お問い合わせは 議会事務局 (☎773-6650)へ

#### 議会広報編集 特別委員

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員 長  | 寺口 友彦 |
| 副委員 長 | 永井 拓三 |
| 委員    | 田村 眞一 |
| 委員    | 清塚 武敏 |
| 委員    | 勝又 貞夫 |
| 委員    | 桑原 圭美 |
| 委員    | 笛木 晶  |
| 委員    | 塩谷 寿雄 |